

本能まちづくりニュース

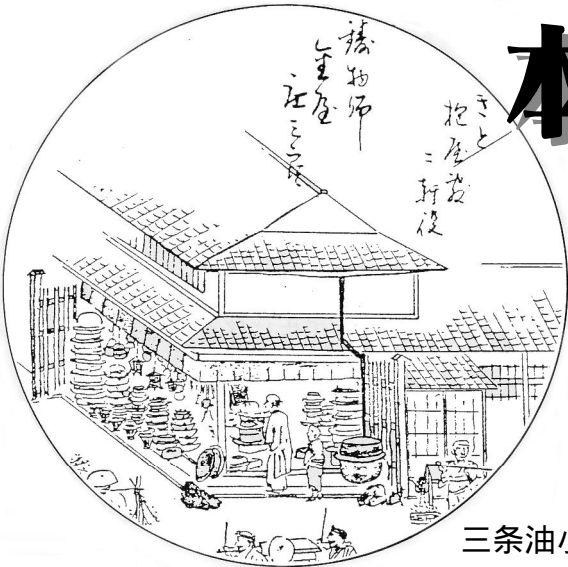
第39号 平成19年7月10日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net

URL http://www.honnoh.net

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページでご覧ください。



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

国土交通省「まちづくり功労者」賞受賞

国土交通省が毎年6月を「まちづくり月間」と定めて実施してきた様々な啓発活動のひとつに、「魅力あるまちづくりに功績のあった個人または団体(地方公共団体を含む)」を「まちづくり功労者」として、国土交通大臣が表彰する、というものがあります。今年、本能まちづくり委員会は、京都市の推薦をうけ、国土交通省内の審査を経て、表彰されることになり、6月15日、当委員会委員長西嶋直和氏が東京千代田区都市センターホテルでの表彰式に臨み、賞状と盾を戴きました。



本能まちづくり委員会の「功績概要」は以下の通りです。

〈都心部の元小学校区という広範囲なコミュニティの単位で住民の意見をまとめ、まちづくりの方針を地区計画として定めた。その後も、地域の伝統産業である「京染め」を生かしたまちづくり活動を展開しており、昨年度は、コミュニティの形成と産業振興、地域空間の整備の有機的なまちづくり循環の構築を探る都市再生モデル調査に取り組む等継続的な取り組みにより、魅力あるまちづくりの推進に貢献している。〉

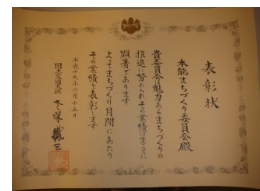
本年の受賞者・団体は42件。京都市からは、洛西第二土地区画整理組合と、景観保全や防災整備、地区計画や町式目の策定をされた東山区の祇園町南側地区協議会も受賞されました。

過去の京都市推薦の受賞者は、個人2人と5団体。本能学区近隣では、姉小路界隈を考える会や修徳自治連合会が受賞されています。

この表彰は昭和58年より始まり、今年で25

回めだそうです。「一人一人が生きること喜びと生き甲斐を味わえる生活空間を形成するためには、住民と国、地方公共団体などが協力して創意と工夫を生かしたまちづくりを推進する」ための啓発活動(「まちづくり月間」実施要綱<目的>)ですが、初期の時代には、「まちづくりの基本となる公共施設等の計画・整備・保全」への貢献、つまり区画整理や市街地再開発への貢献度の評価が主流であったようで、今も受賞件数の三分の一近くを占めています。が、この最近は住民自らによる、良好な生活環境の形成をめざす地区計画や景観協定の策定への評価件数が増えてきているようです。

当委員会では、本能のまちづくりは、ハード面・ハコモノ整備ではなく、そこに暮らす住民の、文字通り「生きること喜びと生き甲斐を味わえる生活空間を形成」して「住みよいまち・働きたいまち・育てたいまち本能」をつくるという、ソフト面の充実を継続することと考えています。今年度は、18年度「都市再生モデル調査」事業での経験にもとづき、地場産業を生かしたまちづくり活動では「マイキモノプロデュース」の不備な点を改めること、住民交流促進活動では、その仕掛けをさらに工夫すること、等に努力していきたいと思っています。まちづくりは、住民皆さんの参加と協力があってできるものです。今までと同様、よろしくお願ひします。ご意見もどしどしお寄せ下さい。



本能を知ろう わがまち本能探検隊

本能まちづくり委員会では、立命館大学乾ゼミ・京都府立大学宗田研究室の学生さん達の企画力に助けられて、去る6月2日に、まち歩きイベント『わがまち本能探検隊』を開催しました。乾ゼミ本能班のみなさんのレポートです。



『わがまち本能探検隊』とは、本能学区の中にある“知られざる名所”を、地元の方に案内人となってもらい、歩いて巡るイベントです。そして何とっ!!!!!! イベント当日の6月2日は、織田信長が本能寺の変で焼き討ちに遭った日!



雲ひとつない晴天もあいまって、当日は総勢66名の方が参加してくださいました。参加者は3つのコースに分かれて、それぞれのコースの案内人の方のお話や説明を聞きながら、本能学区の中にある“織田信長ゆかりの地”や、めったに入ることの出来ないところなどを巡りました。



巡った場所は、空也堂、肉桂水の井戸、柳の水、大井家住宅、稲荷神社、八坂神社出社、道祖神、越後神社、本能館ギャラリーの9箇所、これを3コースに分けました。まち歩き中は、わいわいと話しながら和やかな雰囲気でした。

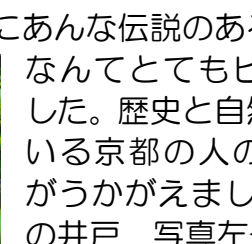


まち歩きが終わった後は、ジュースやお菓子を飲み食べしながら、本能自治会館会議室にて、見たこと聞いたことの発表会を行いました。そこではこんな意見が出ました♪

・住んだこともないのに、すごく懐かしく落ち着く場所でした。(大井家住宅 写真右→)

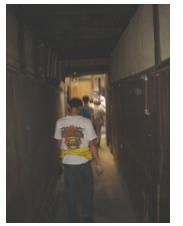
・私の住むマンションが本能寺の敷地内にあると知って感激!

・普通のお家の庭にあんな伝説のある井戸があるなんてとてもビックリしました。歴史と自然に生活している京都の人の暮らしがうかがえました。(肉桂水の井戸 写真左←)



・京都の路地の奥に小さなほこらがあって、いわれもはっきりしないけれど、ずっと地域の人を守ってきたというところに興味を持ちました。人の

お宅だったと聞きましたが通路を通ると、上に明かり窓があって空が覗いていた。誰かが空から降ってきそうな感じがしました。(八坂神社出社 写真右→)



《参加者の感想》

多くの参加者の方々と共に『わがまち本能探検隊』に参加させていただき、より本能というまち

の素晴らしさを感じる事ができました。それは建造物や自然物のすごさはもちろんのことながら、住民の方々が自分の住む『本能』というまちについて熱心に話して

くださったり、私たちの質問の一つ一つに丁寧に答えてくださったりしたところから、本能というまちに対する住民の方々の愛着の気持ちを感じました。(立命館大学乾ゼミ 中垣充史)

今回の『わがまち本能探検隊』には、本当にたくさんの方が来てくださいました。参加してくださったみなさん、本当にありがとうございました!! 今後も、「本能ものしり講座」など、本能の事をもっとよく知ることができて、このまちに住むのが楽しくなるきっかけとなるような企画・イベントを行っていきますので、みなさんは是非、奮ってご参加ください。(乾ゼミ 本能班)

☆☆素敵な「絵」葉書☆☆

私の友人が、べつの友人を誘って、『わがまち本能探検隊』に参加しました。その感想を綴った「絵」葉書*を見せてもらい、新しく、懐かしく・・・なんだかとても嬉しくなりました。友人の了解を得たのでご紹介します。

その葉書には、お礼の一文と本能のまちかどがやわらかなタッチで描かれています。アンケートでも口頭でもない温かな感想が伝わります。写真からスケッチしたものではなく、彼女(学区外の一般参加者)の目に焼きついた「本能」をおしえられます。

あるプロ野球選手の言葉‘記録に残る選手ではなく、記憶に残るプレイヤーに’私達まちづくり委員会の企画が多くの方々の興味に触れ、「本能」が、参加してくださった方々のほんの小さな‘記憶に残るまち’になるって、素敵なことだと思いませんか?そしてまた、様々な人々や時代の流れにも、柔軟に対応できるようになりたいですね。

今の子ども達が大人になり、今の「本能」が受け継がれてゆく為には、「町並み」だけでなく、「人と人との息づかい 絆」の継承も欠かせないものです。(N本)

わがまち お宝 鍾馗さん [山田町の村田茂雄様からお寄せいただきました。ありがとうございます。]

まちづくりニュース 楽しく拝見しております。

わがまち本能のお宝 鍾馗(しょうき)さん、学区内の全戸を自分の足で歩いて探訪してきましたので紹介させていただきます。

鍾馗さんは、中国の古い物語。唐の玄宗皇帝が病に伏した時夢の中で、楊貴妃の宝物を盗もうとしたところ、そこに出てきてその鬼を退治した伝説の人物です。

京都の中京や西陣など、昔ながらの町並みを歩くと屋根の上においやす。

もともと鬼瓦に対抗するために置かれた魔除けです。姿・形はいろいろあり

ます。20~30 cmぐらいの高さで、右手には太刀を持ち、前方を睨みつけています。

昔々、三条のあたりに、葉屋さんが大きな家を建てたそうです。その屋根に大変大きい鬼瓦を置いたところ、この瓦を見た、その家のお向かいの、器量のいい娘さんが、その鬼に、睨まれているような気がして、夜毎うなされ、病気になって寝込んでしまいました。あれこれ手を尽くしましたが一向に良くならない為、葉屋さんに鬼瓦を取り外してくれるように頼みに行った



*印の「絵」葉書と「本能タカラ地図」は本能まちづくり委員会ホームページに掲載しています。ご覧下さい。「本能タカラ地図」とは、『わがまち本能探検隊』のしおりです。本能まちづくりニュース・本能まちづくり委員会HPへの投稿をお待ちしています。また、本能の昔写真展を開きませんか？本能学区の古い写真を探しています。懐かしい写真をお持ちでしたら、是非、まちづくり委員にご一報下さい。

空也堂さん 縁起

去年 11 月、空也堂の石田定顕住職さんをお訪ねし「くうやどう」の縁起など大変興味深いお話を伺いました。

空也上人は念仏を唱えることで民衆を教化し、仏道を世に広められた、日本で最初のお坊さんです。空也堂が

「本朝念仏弘通最初本山」と称される所以です。この称名(しょうみょう)念仏の流れは時宗、浄土宗、浄土真宗、法華宗へと繋がって行きます。

空也堂は天慶 2 年(939)に三条櫛笥(くしげ 三条通神泉苑のあたり)に創建され、市中道場ともよばれてい



ました。現空也堂にも樹木の茂みの中に「市中道場」の大きな石碑があります。平貞盛が空也上人のご教化により定阿弥法師となり、有髪妻帯のまま、当山の教義を継承し、爾来 1000 年余り現住職に至るまで、血脈は連綿として、受継がれて参りました。ちなみに空也上人は醍醐天皇の第二子、平貞盛は桓武天皇の曾孫とされています。

現空也堂が現在地に建立されたのは江戸時代初期で、藤堂和泉守高虎がその役に当たったという事です。その後

のですが、はずせないと言われ、そこで鬼に勝つものはなにかと考え、鍾馗さんの形をした瓦を特別に作らせたのです。そして娘さんの病はすっかり良くなったと。

鍾馗さん。今では隣家に対抗しているのではなく、自分の家にふりかかる邪気を守るために付けられ、魔除けの役目だそうです。

歩いてみて、古西町の方からは、どのような町家についているかを教えていただき、山田町の方からは 鍾馗さんは、昼間ではなく、夜になってから取り付けるものと教えてもらいま

した。区内 27 軒についており、本能特別養護老人ホーム内の各ユニットに、各 1 個設置されて、10 個あり、学区で合計 37 個ありました。



そのなかで 特に目を引いた物と、どこにあるか、本能のタカラ地図*に書き込みましたので見てやってください。

平成 19 年 6 月 15 日 山田町 村田茂雄

幾多の火災に遭遇、再建を経て、最終元治の兵火(1864)により焼失、慶応 2 年、孝明天皇より金子を下賜され、本堂が再建され現在に至っています。但し、山門は焼けなかったようです。文政 13 年の大地震に際し、時の所司代・松平(ママ)伯耆守が、空也堂へ町の様子を巡見に来たという記事が越後突抜町の記録にあり、恐らくこの門前に陣取ったのだと思われます。本寺の正式名称は「紫雲山光勝寺空也堂極楽院」と言い、明治初期の廃仏毀釈に際し、天台宗に属することになりました。

私が小学生の頃(昭和 10~15 年頃)には、空也堂は近隣の子供達の遊び場でもあったのか、毎年地藏盆の前後に「六斎」が催され、これを大変面白く拝見したのが忘れられません。その「六斎」は獅子の宙返りやら色々面白い踊りがあり、最後は獅子が蜘蛛の巣に絡め取られるクライマックスで終わるものでした。

空也堂古制の「歓喜踊躍(かんきゅやく)念仏」は別院では受継がれて来たのですが、本山でこそ歓行すべきだと云うことで、一昨年、住職さん始め、熱心な研究者の方々の大変な努力により、古式ゆかしく復元されました。

それ以来、毎年11月の第2日曜日、空也忌が執り行われるその日に、歓喜踊躍念仏も歓行され、各地から多くの信者さん等が参詣されています。昔、平将門を滅ぼしたのは他ならぬ前述の平貞盛です。将門の一統がみな嚴罰に処せられるところを、空也上人の上奏により勅許が下り、全員を上人が貰い受けられました。その際上人のご高徳を尊び、みな一緒になって兜の鉢を叩いて歓喜踊躍し念仏を唱えたのが、鉢叩き念仏の始めと云われています。古い地図には、亀屋町の所に「たゝき丁」の名が見えます。又、ひょうたんを叩いて祈



禱し、病気が快癒したとか、茶を煎じて振舞い、茶釜を販売して疫病が平癒したとの故事もあります。空也堂の境内に鎮座されているお地蔵さんは、北向の火除地蔵と言われており、防火には靈験あらたかだと言うことです。又、毎月9の付く日、

～若手のざっくばらんの会開催～

本能まちづくり委員会は、他のまちづくり活動をしている組織と比べて大きな特徴があります。それは、比較的若い人が多いこと。せっかくの特徴なので、日頃感じていること、実行してみたいこと、思いついたことなどを一度ざっくばらんに話すような機会があってもよいのでは…と考え、「若手のざっくばらんの会」を企画し開催しました…とは言え、ほんの宴会なのですが、話題は満載！まちづくりだけでなく、懐かしい話から将来のこと…異業種交流にもなり、議案のない会議？はアツという間の4時間を超えていました。お互いに仕事の上でも何かプラスになるアイデアや情報を得られ、次回開催も「乞うご期待！！」の声をもちて閉会（閉店だったのかも…）しました。本能のまちをこれから要（真打ち）となって支えていく私達が、互いのつながりを深めていくことの意味は大きいことでしょう。次回は未定ですが、興味のある方はお気軽に発起人に声をかけてください。（発起人：本能まちづくり委員会 杉下浩教 土山真典 西本謹子）

学区情報

本能自主防犯会 生活安全パトロール

本能自主防犯会は、6月22日夜、お巡りさんとともに、学区の生活安全パトロールを行いました。学区を3地域に分け、3班に分かれて巡回し、街路灯や門灯が消えて暗いところがないか、放置自転車やゴミ・空缶がないか、夜間道路標識の見難いところはないか、など点検しました。パトロール後は気付いたことについて話し合いました。①街灯には、京都市（西部土木事務所 TEL871-6721）・町内・個人が設置したものがある。電球が切れて放置されている場合、その町内の防犯委員が町内会長に連絡し、それぞれに善処する。②本能公園の中にもう一本、街灯を増やしてほしい③放置自転車は中京区役所まちづくり推進課 TEL812-2426 に連絡。④ゴミや空缶等は収集日当日に出すようお互い注意する。⑤道路標識の不備は公安委員会に連絡。⑥自転車は車両であるから左側通行。傘差し運転は危険。傘装着器具の自転車への取り付けは京都府警では禁止の方向。⑦携帯電話をかけながらの運転は、注意力が落ち危険。止めるべし。警察は取り締まりを行っているけれども、細街路まで徹底できていない。⑦東堀川交番は夜間空き交番になっている。署内の電話が五条署に通じるが、咄嗟のとき不便である。警察は人手不足で、夜間は事件の起こりやすい

西洞院通に空也堂の夜店が出ていたのは、40年程前までの、懐かしい思い出です。

「六斎」はこの歓喜踊躍念仏を起源として、各地で行われた「念仏講」での催しであり、鉦・太鼓のほか笛や手桶も加え、当時の地歌や俗謡の節を取入れ、念仏を交えた一種の郷土芸能的な音楽踊りに発達していったものです。後々、出雲の阿国から歌舞伎などの芸能に発展して行くものの原形と言われています。子供の頃見た、あの獅子舞い風の「六斎」が、もう一度見られないものかとお尋ねしたところ、各地の保存会（壬生寺、千本閻魔堂等）で8月頃に公開されているとのことでした。

毎年空也堂では、空也忌に大勢の信者や同好の方々、歓喜踊躍念仏を鑑賞されており、堂内は立錫の余地もない程です。特に入場制限はないようです。静かに念仏の心を持って行儀よく拝見されては如何でしょうか。（〇i）

木屋町等繁華街に人手を取られる、等の意見が出ました。明るいまち・きれいなまち・声かけのあるまちに犯罪は少ないといわれています。日頃から皆で防犯に心がけ、安心・安全のまち本能をつくりましょう。次回のパトロールは秋に行います。

本能学区 行事予定

7月24日(火)	祇園祭還幸祭 三条通にのれんの華を咲かせます。
8月18日(土)	本能夏まつり (本能グラウンド)
9月17日(祝)	敬老会 (本能ホール)
10月7日(日)	区民体育祭 (堀川高校グラウンド)
11月17・18日(土・日)	おいでやす染のまち本能
12月23日(祝)	餅つき交流会 (本能之辻子)
1月1日(祝)	新年互例会 (本能自治会館)
1月14日(祝)	成人式 (本能自治会館)
3月20日(祝)	本ものに出会える日

ひとこと

◎『わがまち本能探検隊』では、新しくこのまちに来られた方と昔を懐かしむ方、それぞれに新たな思いを心に刻まれたようです。(ゆ)
 ◎堀川高校北西隅に蟻螂や石碑が並んでいることをおしえてもらいました。いつのものなのでしょう？どなたかご存知ですか？(N村)
 本能まちづくりニュース39号編集:本能まちづくり委員会広報部